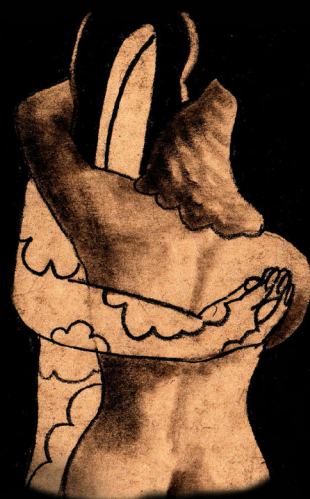


Johannes Brahms



Symphony No.1, op.68

横浜ゾリステン ～ Brahms Program , Without Conductor Style ～



Program

Johannes Brahms

ハンガリー舞曲第1番 ト短調

ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34

～ 休憩 ～

交響曲第1番 ハ短調 Op.68



本日はご多忙の折、横浜ゾリステンブラームスコンサートにご来場くださり、誠にありがとうございます。団を代表し厚く御礼申し上げます。

横浜ゾリステンは音楽専門家集団により昨年結成された、新たなプロフェッショナル・オーケストラです。昨年11月にベートーヴェン「運命」他を、指揮者を置かないアンサンブル方式で演奏いたしました。この方法で本当にうまくできるのか、多少の不安も抱えながらの門出ではありましたが、“やってやれないことはない”ということが結論です。また、奏者全員の集中力が結集することによる、音楽的説得力も得られたと考えております。しかしながら、指揮者がいないことによる演奏上の課題も少なからず明らかになりました。こうした課題をひとつひとつ乗り越えて究極のアンサンブル集団を目指していくことが、我々の重要課題であることはいうまでもありません。

さて、今宵のメインはブラームス交響曲第一番です。もちろん指揮者はいません。いたとしても演奏がとても難しい曲の一つです。この難曲に対して我々横浜ゾリステンがどのように挑み、またどのようにパフォーマンスを発揮できるのか、本日皆様方にその結実としての音楽をお届けいたします。

我々横浜ゾリステンは、今後も引き続き演奏活動等を展開してまいります。まだ結成して1年ばかりゆえ、至り足らぬところ多々あることかと思いますが、皆様方のご指導ご鞭撻賜りたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

横浜ゾリステン事務局長 住田英二

🎵 プログラム・ノート

ハンガリー舞曲第1番 ト短調

ハンガリー舞曲集はブラームスがハンガリーのロマ(ジプシー)音楽を基に編曲した舞曲集です。

もとは4手用ピアノ連弾として書かれました。

オーケストラでも演奏される機会が多いのですが、ブラームスによってオーケストレーションされたのは1・3・10番のみで、それ以外はさまざまな指揮者・作曲家が手がけています。有名どころでは17~21番にドヴォルザークの名前があるところですね。

ハンガリー舞曲集では有名な逸話があります。

ハンガリー出身のレマーニの伴奏者として演奏旅行を行った際、レマーニからロマ音楽を教えられて魅力に取り付かれ編曲に至りハンガリー舞曲集として出版されました。これが好評を博したのですが、この好評を面白く思わないのがレマーニです。

盗作だとしてブラームス相手に訴訟に持ち込んだのですが、ブラームスが作曲でなく編曲としておいた事が幸して事なきを得たそうです。現在、よく取り沙汰される「著作権問題」の先駆けのような話ですね。

ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34

1864年に作曲された作品です。当初、弦楽五重奏として着想されたものの試演の際、友人のヨアヒム(ヴァイオリニスト)からの助言を受け2台のピアノのためのソナタとして書き換えられました。ただこれにもクララからの助言が入り、現在のピアノ五重奏曲として決定稿になったそうです。

普段、大編成オーケストラしか聴かないもので今回曲紹介を書くにあたってこのピアノ五重奏曲を聴いたのですが、素晴らしい作品です。1楽章の暗い情念はどうしたのだろう？この曲想に取り憑かれると抜け出せなくなります。3楽章のスケルツォが印象的で本当に素晴らしい。とてもカルテットにピアノだけとは思えない響きで、オーケストラを聞いているような錯覚に陥ります。そして4楽章冒頭部の半音階進行はブラームスっぽくない響きで、ここだけ聞かされたらブラームスは想像しづらいのではありませんでしょうか。何れにしても本日のプログラムで最もブラームスの内面を感じられる曲ではないでしょうか？

交響曲第1番 ハ短調 Op.68

今回、横浜ゾリステン第2回の演奏会のメインを飾るのは ブラームスの交響曲第1番。俗称「ブラ1」です。

前回はベートーベンの「運命」だったわけで・・・意識したか？してないか？は定かではないが、調性は同じハ短調～ハ長調への「歓喜の方程式」にあてはまっている作品です。

とは言うものの運命初演から約70年後に初演されたブラ1。全体の雰囲気は異なっていて当然です。運命は普遍的なメッセージを強く訴えかけてくる作品ですが、ブラ1では私的というか個人の独白に近い感覚を受けます。

特に4楽章フィナーレにクララ・シューマンに送ったメロディーを挟み込むあたり1フレーズの本音を伝えるために前半3楽章で雰囲気を作ったのか！と突っ込みを入れたくなります。叶わぬ感情を吐露する重苦しい1楽章ヴァイオリンソロの入った2楽章はブラームスの独り言・アレグレットの3楽章は告白前に森を散策するブラームス・・・という思いが感じられます。

🎵 コンサートマスター・ピアニスト



水村浩司（コンサートマスター）

1996年、第50回全日本学生音楽コンクール名古屋大会小学校の部第1位。2001年第55回同コンクール名古屋大会高校の部第1位。2003年東京芸術大学音楽学部器楽科入学。2007年3月同大学を卒業。1998年フランス・ニース夏季国際音楽アカデミーに参加。コンサートに選拔され出演。これまでに北垣紀子、故・久保田良作、澤和樹、山口裕之、松原勝也の各氏に師事。現在東京芸術大学大学院に在学中ながら、東京シティフィルハーモニック管弦楽団その他数々のオーケストラとヴァイオリン協奏曲を共演する。またオーケストラ奏者としても、名古屋フィルハーモニー交響楽団のゲストアシストコンサートマスターをつとめる他数々のオーケストラに客演。また、名古屋にて姉の水村さおりとデュオリサイタルを3回行う他、クラリネットの原田綾子、水村さおりとアンサンブルオラシオンを結成しトリオ演奏会を開く。



細田優花（ピアニスト）

北海道札幌市出身。武蔵野音楽大学にて、ピアノを田代慎之介、D.ガネヴァの各氏に師事、リート伴奏法を子安ゆかり氏に、チェンバロを井上道子氏に師事。在学中より、ソロのみならず伴奏やアンサンブルにも親しむ。2006年武蔵野音楽大学卒業演奏会出演。2006年オランダ・ユトレヒト芸術大学院に進学しピアノをM.v.d.フック氏に、ピアノ伴奏法をL.バック氏に、室内楽をH.アイザッカー氏に師事。学内にて指揮法クラス、オペラ演技クラスのピアノ伴奏者としてアシスタントを務める。2009年修士課程のディプロマを得て帰国。2007年L.ハワード氏のリストマスタークラスの受講者に選ばれる。2008年オランダ・ユトレヒトにて開催された、第8回リスト国際コンクールにて、24人のファイナリストに選ばれる。

🎵 団員直撃インタビュー (聞き手：山之内正、打楽器奏者：石橋知佳)



聞き手 山之内正

ー 前回の運命の演奏会の感想をお聞かせください。

石橋：演奏自体は勢いがあって突き破るような尖ったイメージと思っていましたが、録音を聞くと結構落ち着いていたという印象です。リハーサル中でもまだ課題を残していましたが曲はそれなりにまとまり、お客様にも聴いていただいて、当日は全員が充実した気分を味わえたのではないかと思います。でも久しぶりに大変緊張しました。

ー ティンパニはオーケストラの要ですが指揮者がいないとどうですか。

石橋：ものすごく気を使います。運命の時はコンマス命と思いましたが、それでも何処に音を集中させるのかとても難しかったです。指揮者がいると的があってよいのですが大変な難しさがあったと思います。



石橋知佳

ー 今回のブラームス1番は冒頭からティンパニです。

石橋：本当にどうでしょう、という感じです(笑)。でもとても大好きな曲なので、自分のスキルアップにもつながると思います。でも不安もあります。

ー ベートーヴェンとの違いはどのあたりですか。

石橋：特にブラームスについては、指揮者が奏者の的であること、また合図や交通整理をしてもらう役割がベートーヴェンと比べて大きいと思います。このあたりをコンマスにどれだけ担ってもらえるかが、ポイントになるのではないかと思います。

ー 演奏上のポイントとなるのはどのあたりでしょうか。

石橋：前回の運命では、演奏中は普段は見ない奏者を見ることが多くありました。私自身もホルン奏者をみるのは初めての経験でした。研ぎ澄まされた緊張した状態で全員がそれぞれの動きをみるのは、指揮者がいる普通のオーケストラでは経験できないことです。これは面白い発見ですが、全員が楽譜を暗譜しないと完全にはできません。でもとても楽しみです。

ー どのようなブラームスにしたいですか。

石橋：ねっとりとした巨匠テンポになりたくないと考えています。もちろん重い部分も必要ですが、フレッシュで若い心や光もあります。ブラームスといえいかにも重厚なドイツという印象もありますが、奏者全員の平均年齢も若いので何とかなるのではないかと思います。

ー これからどんな曲をやってみたいですか。

石橋：基本的で難しいところなのですが、小編成で関係を密にできる音楽に取り組むことが、今後私たちが成長するために必要なことだと思います。私も含めて若い奏者が多いのもっと挑戦して、その上で例えば現代音楽、といった奏者が取組んでいきたい音楽に挑戦していくのがよいと思います。

ー アンサンブル能力を高めるといことですか

石橋：そうですね。ハイドンとか古典のような基本もよいし、メンデルスゾーンもいいかと思う。実は横浜ソリストエンsembleと同様の規模と編成のオーケストラで演奏していますが、一人一人の自主性、指揮者との距離感、リハの進め方等考え方が違う。経験豊かで高い演奏能力をもった方々が、細かいことにまでこだわって練習する姿勢があります。なかなか難しいのですがそういう密度の高い積み重ねがとても大切だと思います。

ー 今回はどのような練習方法ですか

石橋：今回は本番前に集中的におこないます。このプログラムは指揮者のいるプロオーケストラでも難しいプログラムなので、奏者全員が集中的に密度の高い練習を重ねて本番に臨むことが大切だと思います。

ー 聴くほうとしては大いに楽しみですね。

石橋：はい。頑張りたいとおもいます。



<山之内正プロフィール>

東京都立大学理学部卒業、出版社勤務を経てオーディオ、音楽の両分野での執筆活動に専念。Audio Accessory、AV Review、STEREO、レコード芸術、Mostly Classicなどに執筆中。
著書：『インターネットで変わる音楽作業』(アスキー)、
『はじめて愉しむホームシアター』(光文社)

横浜ゾリストメンメンバープロフィール（パート内順不同）

長崎亜星（フルート）	昭和音楽大学卒業。1998 年湘南支部新人演奏会出演、静岡県フルート協会主催アンサンブルコンクールにて優秀賞受賞。黒田隆、増村修次、J. C. ジェラルド、石田真弓の各氏に師事。
小津まゆみ（フルート）	昭和音楽大学卒業。2008 年ハンブルク州立音楽院卒業。長谷川修、黒田隆、H. U. ハインツマン、U. バイセンヒルツの各氏に師事。
美島美與（ピッコロ）	洗足学園大学、プレーメン州立芸術大学、ハンブルグコンセルバトリウムを卒業。酒井秀明、大友太郎、ハンス ウド・ハインツマン、ベッティーナ・ウィルド、ユルゲン・フランツの各氏に師事。第 6 回クラシック音楽コンクール入選。
崎本絵里菜（オボエ）	東京芸術大学卒業。和久井仁、小畑善昭、池田昭子の各氏に師事。室内楽を佐久間由美子、水谷上総の各氏に師事。
小倉悠樹（オボエ）	神奈川大学卒業。東京芸術大学音楽別科・大学院音楽研究科修了。第 7 回津山国際総合音楽ダブルリードコンクール入選。これまでにオーボエを松岡裕雅、小畑善昭、O. ヴインターの各氏に師事。室内楽を水谷上総、磯部周平、三界秀実の各氏に師事。
木原亜土（クラリネット）	国立音楽大学卒業。1999 年ビュッフェ・クランボン主催「欧日音楽講座」で奨励賞を受賞。クラリネットを武田忠善、横川晴児の各氏に、室内楽を生島繁、宮本明恭の各氏に師事。
安藤綾花（クラリネット）	東京芸術大学入学。現在、同音楽学部器楽科在学。これまでにクラリネットを伊藤寛隆、十亀正司、濱崎由紀の各氏に師事。
磯崎早苗（ファゴット）	東京芸術大学卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。2008 年オーケストラアンサンブル湘南とモーツァルトの協奏交響曲を共演。これまでにファゴットを塚原里江、岡崎耕治、水谷上総の各氏に師事、室内楽を山岸博、三界秀実、佐久間由美子、水谷上総、渡邊健二の各氏に師事。
河崎聡（ファゴット）	東京芸術大学卒業。在学中、大学内奏楽堂モーニングコンサートにて A. ジョリヴェのファゴット協奏曲を芸大フィルハーモニーと共演。板谷謙一、岡崎耕治の各氏に師事。また、K. トゥーネマン、L. ルフェーブル、M. レファート、G. オダンらのマスタークラスを受講。
江草智子（コントラファゴット）	東京芸術大学卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。別府アルゲリッチ音楽祭、ガウデアムス国際音楽週間、IDRS 国際ダブルリード協会カンファレンス、ヘンデル・フェスティバル・ジャパン、小澤征爾音楽塾オーケストラなどに出演。
金城和美（トランペット）	沖縄県立芸術大学卒業。東京芸術大学音楽学部別科器楽専攻修了。津堅直弘、祖堅方正、杉木峯夫、大隅雅人の各氏に師事。
原育海（トランペット）	東京芸術大学卒業。東京芸術大学神奈川同声会新人演奏会出演。2006 年クルト・マズア指揮メンデルスゾーン基金コンサートに出演。森雅貴、大倉滋夫、津堅直弘、井川明彦、杉木峯夫の各氏に師事。
関谷美紀子（ホルン）	東京芸術大学卒業。ヤマハ新人演奏会出演。ホルンを大橋晃一、守山光三、ミクローシュ・ナジ、田場英子の各氏に師事。
内田隆太郎（ホルン）	武蔵野音楽大学卒業。ホルンを須山芳博、故・田中正大、水野信行の各氏に、室内楽をミクローシュ・ナジに師事。モーツァルテウム夏期国際アカデミーにてラドヴァン・ヴラトコヴィッチ氏に師事。
安部磨理子（ホルン）	桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。ホルンを大橋晃一、守山光三、猶井正幸の各氏に師事。室内楽を鈴木良昭、浅野高瑛、二宮和子の各氏に師事。
鈴木希恵（ホルン）	昭和音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科修了。宮田四郎、樋口哲生、猶井正幸、竹村淳司の各氏に師事。室内楽を太田茂、蠣崎耕三の各氏に師事。2009 年 7 人のホルン奏者によるソロ曲集 Vol. 2 の CD に参加。
酒井陽介（トロンボーン）	東京芸術大学別科修了。第 8 回浜松国際アカデミー&フェスティバルに参加。同新人演奏会に出演。これまでに萩谷克己、栗田雅勝、古賀慎治、イアンバウスフィールドの各氏に師事。
東川暁洋（トロンボーン）	東京芸術大学卒業。学内のモーニングコンサートで芸大フィルハーモニーと共演。同大学卒業後、同声会新人演奏会に出演。第 10 回日本トロンボーンコンペティション第 1 位。第 23 回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門入賞。これまでに神谷敏、古賀慎治の各氏に師事。
有賀佑介（トロンボーン）	東京芸術大学卒業。ソロアルバム FIREBASS をリリース。伊藤清氏に師事。
水村浩司（ヴァイオリン）	東京芸術大学卒業。北垣紀子、故・久保田良作、澤和樹、山口裕之、松原勝也の各氏に師事。第 50 回全日本学生音楽コンクール名古屋大会小学校の部第 1 位。第 55 回同コンクール高校の部第 1 位。
田島華乃（ヴァイオリン）	桐朋学園大学卒業。全日本芸術コンクール第 2 位。富山室内楽セミナーにおいて、東京クアルテットのレッスンを受講。石橋敦子、江口有香、小林健次の各氏に師事。
田代藍（ヴァイオリン）	東京芸術大学卒業。故・鷺見康郎、山岡耕祐、浦川宜也、荒井英治の各氏に師事。第 5 回 JILA 音楽コンクール第 2 位。第 26 回茨城県新人演奏会にて新人賞受賞。他、コンクール入賞・オーディション合格多数（室内楽を含む）。
川上裕司（ヴァイオリン）	東京芸術大学卒業。同大学院修士課程修了。今岡康代、十川真弓、光永俊彦、佐久間礼子、松原勝也、岡山潔の各氏に師事。
印田千裕（ヴァイオリン）	東京芸術大学卒業。英国王立音楽院ディプロマコース修了。吉川朝子、澤和樹、ヴォルフガング・マルシュナー、ジョルジュ・パウクの各氏に師事。ノヴォシビルスク・ヤングヴァイオリニスト国際コンクール・ジュニア部門第 3 位、江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第 1 位。
井神麻友子（ヴァイオリン）	桐朋学園大学卒業。第 13 回ベストプレイヤーズコンクール奨励賞受賞。第 10 回別府アルゲリッチ音楽祭に参加。故・久保田良作、鷺見健彰の各氏に、室内楽を徳永二男、藤井一興の各氏に師事。

- 東山加奈子（ヴァイオリン） 東京芸術大学卒業。第 57 回全日本学生音楽コンクール東京大会入選、第 13 回日本クラシック音楽コンクール入賞、室内楽においては平成 16 年日本アンサンブルコンクール優秀賞、大阪国際コンクールアンサンブル部門第 2 位。滝川美穂子、稲垣美奈子、山岡耕作、山岡みどり、前澤均、清水高師の各氏に師事。
- 坂元愛由子（ヴァイオリン） 東京芸術大学卒業。野上阜三博、若林暢、澤和樹の各氏に師事。
- 荒巻美沙子（ヴァイオリン） 京都市立芸術大学卒業。東京芸術大学院室内楽科在学中。第 11 回 KOBE 国際学生音楽コンクール最優秀賞、神戸市長賞受賞。加納千春、故・東儀幸、山岡耕作、梅原ひまり、玉井菜採、松原勝也の各氏に師事。
- 緒方もも（ヴァイオリン） 東京芸術大学卒業。第 55 回全日本学生音楽コンクール福岡大会ヴァイオリン部門中学生の部第 3 位。2010 年シレジアフィルハーモニー管弦楽団と共演。これまでに篠崎美樹、篠崎永育、篠崎史紀、小林武志、川口エリサ、永峰高志、塚原ルリ子、マルコム・レイフィールド、四方恭子の各氏に師事。
- 舘泉礼一（ヴァイオリン） 東京芸術大学卒業。国立音楽大学付属中学在学中、全日本ソリストコンテスト高校生の部入賞。同年ベストプレイヤーズコンテスト大学・一般の部入賞。ヴァイオリンを江藤俊哉、辰巳明子、清水高師、藤原浜雄の各氏に師事。ヴィオラを菅沼準二、川崎和憲、大野かおるの各氏に師事。
- 小倉萌子（ヴァイオリン） 東京芸術大学卒業。ヴァイオリン・ヴィオラを加宮令一郎、ヴィオラを菅沼準二、川崎和憲、林徹也の各氏に師事。
- 神原いずみ（ヴァイオリン） 東京芸術大学在学中。坂口弦太郎、川本嘉子、川崎和憲の各氏に師事。
- 麻柄明日香（ヴァイオリン） 東京芸術大学卒業。20 歳でヴィオラに転向。第 10 回演奏家コンクール特別賞。第 1 回名古屋 アンサンブルフェスタにてベストアンサンブル賞。ヴァイオリンを北垣紀子、清水高師、ヴィオラを百武由紀の各氏に師事。
- 関口将史（チェロ） 東京芸術大学卒業。ヴァーツラフ・アダミール、向山規矩子、山本佑ノ介、河野文昭、北本秀樹の各氏に師事。
- 内田佳宏（チェロ） 京都薬科大学卒業。東京芸術大学別科終了。東京芸術大学院在籍。2006 年熊楠の里音楽コンクール第 1 位、及び紀伊民放社長賞受賞。2007 年度青山音楽新人賞受賞。チェロを林裕、河野文昭、西谷牧人の各氏に師事。室内楽を松原勝也、玉井菜採、ほか多くの指導者に師事。
- 大澤久（チェロ） 名古屋工業大学工学部物質生命工学科を経て東京芸術大学音楽部器楽科チェロ専攻へ進学。現在 同大学 4 年生。パッサカンタータクラブに所属し定期演奏会に出演。古楽アンサンブルの勉強もしている。これまでにチェロを中島顕、河野文昭、林俊昭、鈴木秀美の各氏に師事。
- 白佐武史（チェロ） 武蔵野音楽大学、同大学院修了。在学中奨学生に選ばれ、イタリアのピエディルーコ国際音楽祭に参加。これまでに NTTdocomo コンサート、サントリーホールデビューコンサート等多くの演奏会に出演。櫻井敬一、クレメンス・ドル、花崎薫の各氏に師事。またマスタークラスにて、クリスチャン・ギガー、藤原真理、ルイジ・ビオヴァーノの各氏に指導を受ける。
- 早川珠実（コントラバス） 東京音楽大学卒業。永島義男、松本武全の各氏に師事。
- 吉本宗司（コントラバス） 東京芸術大学卒業。コントラバスを永島義男、山本修、野田一郎、片山敏夫の各氏に、室内楽を鈴木秀美氏に師事。
- 石橋知佳（打楽器） 東京芸術大学卒業。卒業時に同声会賞受賞。打楽器を高田みどり、有賀誠門の各氏に師事。2009 年ブルガリアでの打楽器国際コンクール・デュオ部門にて 3 位入賞。
- 清田裕里江（打楽器） 東京芸術大学在籍。これまでに定成淡紅子、三科清治、杉山智恵子、藤本隆文の各氏に師事。
- 三神絵里子（打楽器） 桐朋学園大学在籍。2010 年 3 月自身初のリサイタルを横浜にて開催。マリンバを安倍圭子、高田亮、打楽器を佐野恭一、塚田吉幸の各氏に師事。

横浜ゾリスTEN事務局

住田英二（事務局長）
 渡辺智晴（マネージャー）
 久保寺淳（プログラム・ノート）
 飯倉美穂（プログラム・構成）
 住田久美子（ライブラリアン）
 和田久美子（ステージマネージャー）
 山之内正（アドバイザー）

Special Thanks

Jeff Aoyama（表紙デザイン） 東京芸術大学彫刻科卒業。現在東京芸術大学大学院に在学中。

いい楽器みつけた！

はじめての人からプロフェッショナルまで
管楽器は **YOKOHAMA セントラル**

MUSICAL INSTRUMENTS CO., LTD.
CENTRAL

気になる楽器、欲しい楽器が
きつと見つかる！

セントラルの店

- 金管マウスピース館
- チューバ専門フロア
- スタジオ
- 木管ストック
- 金管ストック
- オフィス
- ショールーム
- リペアルーム

セントラル楽器本館

都内近郊の方、意外とお近くですので是非お立ち寄り下さい！

情報満載 **ホームページ**
<http://central-gakki.jp>
 E-mail: web@central-gakki.jp
 毎日新鮮な情報に更新中！
 ぜひアクセスしてみてください！



ヤマハ・サンキョウ・ヤナギサワ等、国産の一流ブランドから、ヨーロッパ・アメリカの超一流ブランドまで、すべてがそろった管楽器の専門店

株式会社 セントラル楽器

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-15-2
TEL.045-324-3111(代) FAX.045-324-4025

SUMINO A MUSICAL INSTRUMENT STORE
WEB SITE

創業31年の実績。安心の完全保証。



そして、自信の**特別価格**でご紹介します！

お問い合わせは

☎ 0120-76-5516

FAX.044-411-3454

<http://www.sumino-gakki.com>